

4月22日[Fri]～6月26日[Sun]

古文書学校の活動を発表



▲貴重な史料を古文書学校で翻刻し、展示しました

元禄時代に記された『佐賀藩多久領御屋形日記』の8つのエピソードを紹介する企画展「多久古文書学校の活動展2022～元禄の多久に遊ぶ～」が多久市郷土資料館で行われました。

館内では史料と活字に翻刻した文を展示。徳川綱吉の娘のためにペットを探す、雨乞いのために浮立を舞う許可を願い出るなど、元禄の多久で起こった興味深い出来事が並びました。

多久市に残された貴重な古文書を整理・保存・翻刻する多久古文書学校の成果発表の場でもあったこの企画展。担当する郷土資料館の山口佐和子さんは「古文書学校の活動にさらに多くの人が携わってくださると嬉しいです」と呼びかけました。

5月19日[Thu]

佐賀東信用組合が子育て応援の寄附金贈呈



▲荒瀬副市長（左）に寄附金を贈呈される田中常務理事（右）

多久市と「まち・ひと・しごと創生に関する連携協定」を結んでいる佐賀東信用組合から子育て応援の寄附金をいただきました。同組合は地域の子育てを応援するため「ふるさと応援定期 とうしんカルガモ定期預金」の契約額に応じて、協定を結んでいる県内9市町（5市4町）へ寄附をされています。

佐賀東信用組合の田中常務理事は「子育て支援のために寄附をさせていただきました。活用よろしくお願ひします」と話され、荒瀬副市長は「寄附金をいただき大変ありがたい。児童センターで活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

6月12日[Sun]

軽トラ市多久が本格再開！



▲あいばれっとの駐車場に野菜や魚、雑貨などの店舗が並んだ軽トラ市

「よって見んしゃい！軽トラ市多久」があいばれっつとで開催され、多くの来場者で賑わいました。

軽トラ市多久は直近では令和4年5月に行われましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、出店者が少ない状況でした。今回は27の出店者が集まり、本格的な再開となりました。

池田隆臣さんとWHITEWOODWORKSさんのストリートライブも行われ、夕方の帰宅放送でおなじみの「多久の唄」などで会場は盛り上がりました。

7月の軽トラ市多久は17日(日)に開催予定です。

02	まちの話題
04	特集 多久二千年ハスを守る会
06	多久市からのお知らせ
13	あじさいへ行こう！
14	教育委員会だより
15	市長コラム
16	健康ノススメ
18	おたっしゅだより
20	まちのPickUPインフォメーション
24	Hi! POSE ほか

今月の論語

備わらんことを一人に求むることなかれ

無求 備於一人。

出典：微子

一人の人間に何もかも要求してはいけない。

今月の帰宅放送は、東原彦舎中央校9年の野中琴未さんです。